

がいにくじんむけ
外国人向け

きんきゅう こうどう
緊急のときの行動ハンドブック

さいがい じゅんび
災害への準備ハンドブック

《にほんご》

まつえしぼうさいあんぜんか さいがいじれんらくさき
松江市防災安全課(災害時連絡先)

でんわばんごう
電話番号 55 - 5115

わたしのこと

なまえ せいねんがっぴ
名前 生年月日

じゅうしょ
住所

こくせき はな ことば けつえきがた Rh
国籍 話せる言葉 血液型

かぞく れんらくさき
家族への連絡先

かぞく なまえ わたしとのかんけい
家族の名前 わたしとの関係

でんわばんごう けいたい
電話番号(携帯電話番号)

メールアドレス

わたしの勤め先

めいしやう でんわばんごう
名称 電話番号



きゅうびょう
急病や けがで

きゅうきゅうしゃ
救急車を呼びたい

でんわ
TEL 119



- ・ 急病や大けがのとき、「119」(消防)に電話して、救急車を呼びます。
- ・ 119に電話して、消防が出たら
救急(きゅうきゅう)であること
どうしたのか(病気やけがの状態)
住所または場所
あなたの名前、電話番号を知らせましょう
- ・ 日本語が話せないときは、まわりの人に連絡をたのみましょう。



かじ
火事するとき

- ・ 大きな声で「火事だ」と知らせる

でんわ
TEL 119



- ・ 大きな声で「火事だ」と近所の人に知らせます
- ・ 「119」(消防)に電話して、消防車を呼びます
- ・ 自分ひとりで、消そうとすると危険です
- ・ 「119」に電話して、消防が出たら、
火事(かじ)であること
住所や建物の名前
燃えているもの
近くの目印になる建物など
あなたの名前、電話番号を知らせましょう
- ・ 日本語が話せないときは、まわりの人に連絡をたのみましょう。



- ・ 犯罪の被害、
交通事故のとき

でんわ
TEL 110



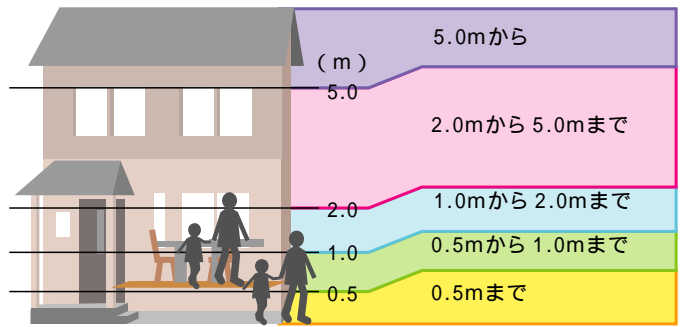
- ・ だろぼうや暴力の被害にあったとき、交通事故のとき、事件や事故に出会ったとき、「110」(警察)に電話して、警察官を呼びます
- ・ 110に電話をして、警察がでたら、
何があったか(事件です、または、事故です)
いつ(いまから、分前です)
どこで(場所や目印になる建物など)
犯人の顔、着ていた服、車の特徴
あなたの名前、電話番号を知らせましょう
- ・ 日本語が話せないときは、まわりの人に連絡をたのみましょう

ハザードマップの使い方

- あなたの住んでいる近くの地図です。地図には避難所や、水害・津波・土砂災害の危ないところを書いてあります
- 地図を見て、家や学校・仕事場の場所を確認します
近くの避難所を決めましょう
危ない場所を確認しましょう
家から避難所まで、安全に行くことができる道を決めて、地図に書きましょう
家族全員で、避難する道を歩きましょう

ハザードマップに書いてある記号

150年に1回程度起こる大雨により、宍道湖・大橋川・中海がはん濫した場合に想定される、浸水の区域および深さです



ハザードマップに書いてある記号



指定避難所 (市で決めた避難所)



一時避難所 (地区で決めた避難所)



県庁・市役所



警察署・交番・駐在所



消防署・出張所



救急指定病院

ハザードマップに書いてある記号



土砂災害で危ない場所

わが家の避難するところ (集合場所)

避難所名

電話番号

水害に備えて

- 部屋に水が入って危なくなる場合は、早めに避難をしましょう
部屋に水が入ってからでは、避難は難しくなります
水の深さが50cmを超えると、歩行は難しくなります
水の深さが浅くても、水路やマンホールなどへの転落する場合があります
避難をするときは、素足・長ぐつでは危ないです。運動靴で避難しましょう。

地震に備えて

- 日本では、地震がよくおきます。地震がおきたときに、けがをしたり、火事にならないように、次のように行動します。
ゆれた時の行動
グラツキきたら、まず自分の体を守る
無理して火を消さず、ゆれがおさまるまで待つ
窓や戸を開けて、出口をつくる
火がでたらまず消火をする
上から落ちてくるものがあるので、家や建物から、あわてて外に飛び出さない

地震に備えて

門やへいは倒れやすいから、近づかない

地震のあとの行動

山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する
お年寄りや体の不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなで助け合う。
テレビやラジオで正しい情報を聞いて行動
避難の前に安全確認 電気・ガスは元栓を閉める
避難所には歩いて避難をする (車は使わない)

災害時の持出品

- 避難のときに必要なものを、リュックサックなどにまとめておく
【非常持出品】大切なもの・薬・ラジオ・懐中電灯・服・雨具・マッチやライター・ティッシュペーパーなど生活に欠かせない用品
【非常備蓄品】水・食べ物を1人あたり3日分

困ったときの相談窓口

島根国際センター 31-5056
松江市国際交流協会 31-8345